



## 環境基準超過井戸 8.2% 環境省

環境省は平成 16 年 12 月 16 日付けで、15 年度に国と地方公共団体が実施した全国の地下水水質測定結果を取りまとめました。

地下水質の全国的な状況の把握を目的とした概況調査では、調査を実施した井戸 5,129 本のうち、環境基準を超過した項目が 1 項目以上あった井戸は、全体の 8.2%にあたる 421 本にのぼることが確認されました。

環境基準を超過している項目は、テトラクロロエチレン、トリクロロエチレン、シス - 1, 2 - ジクロロエチレン、ジクロロメタンの揮発性有機化合物 4 物質、砒素、ふっ素、鉛、ホウ素、総水銀、六価クロムの重金属 6 物質、および硝酸性窒素、亜硝酸性窒素の計 11 物質です。これ以外の 15 物質についての基準超過はありませんでした。

項目別の超過率としては、硝酸性窒素・亜硝酸性窒素が 6.5%と最も高く、14 年度の 5.9%より増加。次いで砒素の 1.4%(14 年度 1.5%)、ふっ素の 0.7%(14 年度 0.4%)と続いています。

資料:2004 年 12 月 16 日 EIC ネット

機器分析箇所 関善行

次の記事をご希望の方は編集室佐藤までご連絡下さい。

1. 大気汚染削減計画策定 欧州委員会
2. 121 河川の「フレッシュ度」試算結果 国交省
3. ベンゼン低濃度で血球減少
4. PCB 処理施設が北九州で本格稼働
5. RoHS 指令の監視・制御機器で対応委員会設置
6. 16 年産国産米に含まれるカドミウム調査結果
7. 平成 15 年度河川、湖沼等水質調査結果 環境省

## 公共用水域水質測定結果 環境省

環境省は、平成 15 年度に国と地方公共団体が実施した全国の公共用水域の水質測定結果をまとめ、16 年 12 月 16 日付けで発表しました。

今回の調査では健康項目について 5,708 地点、27 万 2,762 検体、生活環境項目では 3,558 水域 8,606 地点、42 万 9,709 検体について調査を実施しました。

このうち、健康項目 26 項目の環境基準達成率は 14 年度と同程度の 99.3%でほぼ全地点で環境基準を達成していました。

一方生活環境項目では、有機汚濁の代表的な水質指標である BOD(河川)・COD(湖沼および海域)の環境基準達成率が全体で 83.8%と 14 年度の 81.7%に比べ 2.1 ポイント改善し過去最高の達成率を記録しましたが、水域別にみると、河川で 87.4%、海域で 76.2%、湖沼で 55.2%と閉鎖性水域での達成率が依然極端に低い状況にあることが確認されました。また全窒素と全リンについての基準達成率も湖沼で 41.3%、海域 84.2%となっており、全窒素については悪化、全リンについては向上していました。こちらも湖沼の達成率が依然として低い状況であることが判明しました。

資料:2004 年 12 月 20 日 EIC ネット 環境省 HP

生活環境箇所 清水圭介

8. PRTR 法 15 年度届出外排出量推計法の見直し  
経済産業省、環境省
9. 温泉揭示項目追加案 環境省
10. 平成 15 年度振動規制法施行状況 環境省
11. 平成 15 年度騒音規制法施行状況 環境省
12. 平成 15 年度悪臭防止法施行状況 環境省
13. 廃棄物焼却炉のダイオキシン類の簡易測定法公募 環境省



### 事業内容

- 1 環境管理に伴う調査・測定・化学分析
- 2 ダイオキシン類に係る濃度計量証明
- 3 ビル管理に伴う水質検査・空気環境測定
- 4 水道法第 20 条に基づく水質検査
- 5 土壌汚染対策法に基づく土壌汚染状況調査
- 6 労働衛生管理に伴う作業環境測定
- 7 トータルサニテーション管理
- 8 委託試験・研究・開発